



クリスマス  
チャリティ

音楽劇

# 父と母の軽井沢物語

NOUS SOMMES LE MONDE

ヌソムルモンド ～僕ら地球人～

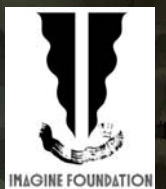
心を開いて“yes”って言ってごらん

**DADDY & MOTHER**  
IN THE YEAR **2520**

24th December 2018

At the Tokyo Omote-sando “Tessen-kai” Noh-Stage

First Stage: 2:30PM / Second Stage: 7:00PM



〈あらすじ〉 500年後の地球を舞台にした物語は、1960年代・70年代とリンクしながら、やがて時代も、生と死の境も超えて、“地球人”という思いのなかで一つになる。役者の台詞と楽曲の歌詩が交互に織りなす“普遍愛”を貫くスリリングなストーリーと、古典的なペースとユーモアを交えた展開で、ラストシーンにかけ涙腺崩壊の連続に見舞われる…

月と地球を自在に往復できる自動操縦カーが開発されていた500年後、温暖化による海面上昇で東京を含め海岸近くの主要都市がみな水没した地球から、舞台の幕が開く。その様変わりした地球は、もはや国境も軍隊も宗教もない「イマジン」の世界になっていた。標高の高さと環境の良さから、「世界連邦」の首都となった軽井沢に、月から、あるひとりの女性がやって来る。そして物語は、その女性が、500年後の軽井沢・古の血族でもある有名な日本女性の別荘を訪れるのを機に、遙か昔に生きていた3人の家族のリアルな日常へとタイムトラベルしていく。

東京生れの女性前衛芸術家「マザー」、イギリス・リバプール生れて世界的に有名なポップスター「ダディ」、この二人の息子「ボーイ」の紡ぎだす会話から、やがてダディとマザーの往復書簡を通したエピソードへと展開する物語。ロンドンにあるインディカギャラリーでのダディとマザーの出会いのエピソード、インドでの瞑想体験で人生の分岐点を悟るダディの苦悩、芥川龍之介と片山廣子のようなアーティスト同士、既婚者同士の二人の恋文のやりとり、共に目指す世界や価値観が生き生きと輝きを放ってメッセージされる。

一方、月から訪れた軽井沢の地で「古い古い何世代も前の記憶が戻ってきたような気がする」感覚に包まれながらも、母から聞かされた自らの故郷に真の共感を見出せないままの女性。しかし、万平ホテルから離山房へと祖先であるダディとマザーの思い出を辿りながら、二人の存在が少しずつ近づいてくる。

物語の進行と共に、ダディとマザーがジョン・レノン&オノ・ヨーコのオマージュと徐々に重なるなかで、ダディにも当然の結末のようにニューヨークのダコタハウス前で銃声を聞く瞬間が訪れる。そして軽井沢を訪れた女性にも、「私と同じ名前のYOKOさん、そしてショーン君」と共感の思いが込みあげていく。

500年後の世界が、ジョン&ヨーコが生きた1960年代～70年代、そしてジョンが亡くなった後の月日と時空を超えてリンクするなかで、ダディ、つまりジョンがラスト近くで未来に託したメッセージは、月から来た一人の女性へと手渡される。

ラスト、既に1980年12月8日、天国へ旅立っていたダディは、大自然を循環する存在となって、時代も生と死も境界がなくなる感覚のなか、現世までもその大きな共感の輪に包み込まれていく。1979年日本での最後の夏、家族で訪れた京都・比叡山のお花畑で交わした約束の言葉「ここでまた会おう…」を3人それぞれ覚えていた。そして…



マザー

日本・東京生れ、女性前衛芸術家。英国ロンドンでダディと出会い再婚。「ボーイ」を出産。しかし、ダディに先立たれ、未亡人となったあと、500年後の未来、軽井沢の地を訪れる。

金子あい



ダディ

イギリス・リバプール生れ、世界的に有名なポップスター。4人組のバンド「FAB4」で活躍中にマザーと出会い再婚。バンド解散後、しばらく「主夫」ハウスバンドとして子育てと家事に専念。マザーの土地、軽井沢をたびたび訪れる。音楽活動再始動の矢先、ニューヨークで凶弾に倒れる。

小野口基



ボーイ

ニューヨーク生れ。マザーとダディのひとり息子。いつも家族といっしょ。軽井沢でのしあわせな日々を過ごす。

小川さやか

(ピアノ)

構成:

- 第一章、500年後の世界
- 第二章、軽井沢ポート着
- 第三章、別荘にて
- 第四章、インドからの手紙
- 第五章、500年後の万平ホテル
- 第六章、10年後の離山房
- 第七章、500年後の離山
- 第八章、あの日ニューヨーク
- 第九章、京都から月へ



ゲスト出演:  
オープニングソング歌唱  
谷本綾香

声のみの出演(事前録音):

- FM放送ディスクジョッキー / 丹下一
- 万平ホテル支配人 / 染野弘考
- インドの導師・マハリシ / 島本和人
- 哲学者・ブラフマン / 西院由紀夫
- 離山房・戸室加寿子

原作: 縄文士 著

小説「ジョンとヨーコの物語」より

音楽: 縄文士 作詞 作曲 (全20曲)

アルバム「ジョンとヨーコの物語」より

脚本: 縄文士、笠井賢一

演出: 笠井賢一

衣装: 細田ひなこ

ヘアメイク: 氣賀澤

照明: 清水昌弘

映像: 花澤寛之

音響: 星野大輔(サウンドウィズ)、櫻内懂海

録音: 国府朋也(BASS ON TOP中野)

舞台監督: 丹下一

撮影: 株式会社素浪人

監修: 加瀬英明(小野洋子さん従兄弟)

協賛: 株式会社チャイルド・ピース

制作: モンドミュージック合同会社

主催: 一般財団法人未来想像財団



総合芸術劇団「ジェニオ」旗揚げ作品

劇団「ジェニオ(Genio)」とは愛と平和の民、縄文人からの遺伝子を音楽と映像、芝居などの融合した芸術で未来に継承していく遺伝子という名の総合芸術劇団です

金子あい / 俳優・アーティスト。東京芸術大学大学院デザイン科修了。現代劇から古典まで和洋を問わず様々な舞台で活動。art unit ai+を主宰し、2011年より「平家物語〜語りと波紋音」「紫式部気ままに『源氏物語』」「音楽一人芝居いさかい」など上演。能を喜多流粟谷明生に、新内を鶴賀流第十一代家元鶴賀若狭(人間国宝)に師事。日生劇場「アリスのクラシックコンサート」「子午線の祀り」(第25回読売演劇大賞最優秀作品賞)「雁作・桜の森の満開の下」などに出演。

小野口基 / 2015年東邦音楽大学音楽学部声楽専攻卒業。在学中より、学内及び学外の演奏会等に出演。2017年より福川奏子事務所所属のオペラヴォーカルユニット L'alba voce のメンバーとして活動を始める。声種はテノール。伸びやかで深みある声質を持つ。声楽を武藤直美、佐々木洋平の各氏に師事。

小川さやか / 千葉県出身。武蔵野音楽大学卒業。ピアニスト・マリニピスト・音楽セラピスト・シンガーソングライター。ピアノ教師の母の影響で3歳からピアノを始める。中学から作詞・作曲、高校からライブを始め、現在は日本文化海外普及協会の一員として海外でも活動している。2018年世界子供サミットテーマソングやCMソング、ラジオテーマソング、歌手への楽曲提供を手掛ける。教育・医療の現場では音楽・朗読を通して「自分らしく生きる喜び」を伝える活動をしている。

谷本綾香(メソソプラノ) / ロンドン在住オペラ歌手。忍者の里・伊賀を代表する陶芸家谷本光生が祖父、陶芸家谷本洋、あけみが両親の家に生まれる。物心ついた時から音楽好きの父が歌うビートルズなどを聴き育つ。その後ヒップホップやR&Bに影響を受け15歳でソウルバンドで活動。マルチカルチャーな環境で育ちながら数ヶ月はイギリスやスペインで過ごし、京都と大阪のインターナショナルスクールで教育を受ける。日本を出てロンドンなどで活動したマザーのように、大学からロンドンに移住し英国国立音楽大学と英国国立スコットランド音楽大学にて声楽を専攻。ヨーロッパを中心に数々のオペラ公演に出演。現在はヨーロッパと日本を行き来し活動の幅を広げている。

縄文士 / (じょうもんじ) 音楽プロデューサー、作詞・作曲家、小説家。3人組コーラスグループ「トロワ」でデビュー後、第2の「ガロ」としてコロムビアレコードに移籍。その後、井上俊次と「ビッグバン」結成。クインシー・ジョーンズ「愛のコリーダ」日本語版発表。代表作は2012年ロンドン応援ソング「君とロンドン」、2013年震災復興支援創作ミュージカル「ロミオとジュリエットその後」。現在、モンドミュージック合同会社、サクラプロジェクトジャパン、一般財団法人未来想像財団代表。2013年、地球環境テーマ音楽映像「Re:Monde(地球再生)」を世界各地の海岸線、遺跡、砂漠でロケ撮影、発表。日本文化発信「サクラプロジェクトジャパン」を立ち上げ、LA開催「第55回グラミー賞」MTV Aワード)に出品。小説「絵本「ダディとマザーの物語」」出版、映画化予定。

笠井賢一 / 今尾哲也氏(歌舞伎役者)に師事。狭仙会(能・観世流)のプロデューサーを長年勤める。演出家、劇作家として古典と現代を繋ぐ演劇活動を能狂言役者や現代劇の役者、邦楽、洋楽の演奏家たちと続ける。「源氏物語」「平家物語」、近松門左衛門から宮沢賢治まで広く演出。新作能の演出では石牟礼道子作「不知火」(シテ梅若実)、多田富雄作新作能「無明の井」(シテ野村四郎)、Y.ロドヴィッチ作「鎮魂—アウシュヴィッツ・フクシマの能」(シテ観世鏡之丞)等演出。音楽劇「相聞—芥川龍之介と片山廣子の恋」の作演出。

## ご挨拶

私の一生に影響を与えた、あるポップスターの発したメッセージをこの音楽劇で表現。  
今は見えない未来を想像して生き、対立のない未来、平和なひとつの世界を実現するために、  
何ができるかを皆さまと共に考え、行動して行きたい。

本日はご来場いただき誠に有難うございます。  
私の人生に多大な影響を与えたあるポップスターの存在を通して現代社会へのメッセージを発信するこの音楽劇は、私にとって単なる作品を超えた記念碑的な存在となりました。劇中登場するダディは、皆様もお気づきのように、20世紀を代表するビートルズの中心メンバー、ジョン・レノンをオマージュしています。もちろん私は学生時代からビートルズ、そしてジョンの一ファンとして、その音楽を愛聴してきましたが、ジョンは単なる憧れを超えて私の人生を左右してきた特別な存在と言えます。

その原点は、1979年8月1日。当時、大学生だった私は、本音楽劇の舞台でもある軽井沢にいました。その頃、大学ノートにつけていた日記にこう書いてあります。

「今日あの人に会った。人生で最大の出会いだった」と。当時、軽井沢でテニスの合宿に参加していた私は、練習を終えてお腹がすいたため旧軽銀座のパン屋「フランスベーカリー」に行ったのです。とても人気のあったそのパン屋さんは、その日も盛況で、レジ待ちの列ができていました。私はいつものパンを取り、その列の一番後ろに並びました。その時、チャリーンという音と共に、何枚ものコインが床に転がりました。そこで私は、店内に散らばっていくコインを拾い回ったのです。テニスウェアだった私は、服の汚れを気にする必要もなかったため這いつくばるように拾い集めると、目の前で振り向いた背の高い西洋人に「これは貴方ののでしょうか?どうぞ」と手渡しました。そのとき、片言の日本語で「ありがとうございました」とだけ言ったその顔を見て私に衝撃が走りました。トレードマークの丸い眼鏡に麦わら帽子をかぶったその人物は、世界で一番有名なポップスターだったのです。

その日から、私は彼を心の中で追いつけてきました。彼が私に見せてくれた素敵な生き方。買った夫婦愛とハウスバンドを実践した男の姿。そして音楽で「ラブ&ピース」を実現しようとし、志半ばで銃弾に倒れた人生。その全てを見つめることで、私の中で自らに積み重なった思いを、いつか彼と家族の物語として表現してみたい、そんな渴望が日増しに高まっていました。そんな私の背中を強く押してくれた、もう一つの出来事がありました。

それは、2012年の12月8日、ジョンの命日に日本武道館で開催された「Dream Power ジョン・レノン スーパー・ライヴ」の会場で、「ジョンの思いを受け継いでくれる人が必ずこの中にいる。夢を持ち続けましょう!」という小野洋子さんの言葉に、その人こそ自分だと確信した瞬間でした。

私が軽井沢で出会い、小野洋子さんの夫でもあったそのポップスター、ジョン・レノンは、“想像すること”の大切さを説きました。であれば、彼らが未来の地球に存在していたら…そんな想像をすることで、今を変える力が生まれないだろうか、と。そこで、私は三巻からなる小説「ジョンとヨーコの物語」を書き、そこから一遍の音楽劇を創作しました。構想から足掛け7年。音楽は彼の魂が降りたような感覚に満たされながら生み出した私自身のオリジナル曲16曲だけで構成しています。

なぜ、今なのか?そのポップスターの誕生から80年、“ファブ4”とも呼ばれたバンド解散から50年という節目の2020年、世界の祭典が東京で開かれます。その2020年までにあと2年を切ったなかで、彼が訪れた世界各地でこの音楽劇を公演し、彼が愛して止まなかった日本からのメッセージを世界各地で発信するとともに、音楽でレボリューションを唱えた彼のメッセージを繋ぐ役割を

果たしたいと思ったのです。

私をそこまで突き動かした要因には、国家間の争いや内戦がより一層激しくなっている他ならぬこの世界の有様があります。それは、「ラブ&ピース」への希求とは正反対の惨状です。「ラブ&ピース」が目指した「対立のない未来、平和なひとつの世界」を実現する力に少しでもなろうと、私はこの間、世界を舞台にしたさまざまなパフォーマンスと活動を行ってきましたが、その一つのゴールが今回の音楽劇であるとも思っています。

さあ、ダディ、マザー、ボーイと呼び合っていた三人のある家族の物語の始まりです。

- テーマ  
「ユニバーサル・ラブ(普遍愛)」
- 目的  
「地球の未来と子供たちのために」
- メッセージ  
「対立のない未来、平和なひとつの世界」
- キーワード  
「風・花・河・山・愛」の5文字

オープニング曲は、2020年世界が一つになり共に生きようという♪「トゥゲザー」と、太陽のような母の愛を歌う♪「風のワルツ」です。イリュージョンの領域に足を踏み入れたような世界を、ロンドンのオペラ歌手・谷本綾香が歌い上げます。1968年に彼が浴びたガンジス川の水と風の音を私が先日訪れたインド・リシケシュで録音した生の音と共に皆さまを想像の世界へととざないます。それを入口に、物語は大きく展開していきます。本編では、金子あい、小野口基、小川さやかとの3名による歌が、ドラマティックな展開の芝居と交互に織り成していきます。ピアノの旋律も、背景の映像とシンクロし心地よく胸にしみ、心をかきたてるのに十分です。

そして舞台の背景には、私が実際に彼の足跡を追って軽井沢、京都、リバプール、ロンドン、パリ、インド・リシケシュ、アムステルダム、ニューヨークなどこの足と目で集めてきた美しく迫力ある映像が流れます。私は、この思いをより印象強く伝えるた

めに、これらの映像と、オリジナルの音楽、芝居という3つの要素を融合する総合芸術作品として創作し、実際に演じる劇団「Genio」を発足させました。その意味は「Gene=遺伝子」という語源から派生した「才能」です。因みに本作のメインキャラクター三名も、この遺伝子で結ばれた存在です。遺伝子には、文化や芸能などで受け継がれていく本質的な価値を意味することがありますが、ご覧いただいた皆さま一人ひとりが、未来に受け継ぐべき何かをこの作品で見つけていただけたらと願っています。そして、劇団「Genio」と共に具体的に行動して行ければと思っております。地球の未来とこども達のために。

本日は、こうした私の思いが生んだ音楽劇の記念すべき初演です。クリスマスイブという特別な夜、表参道の能舞台という神聖かつ幽玄の空間で、彼のことを思い出して頂きたい。彼の生き生きとした姿を、もう一度“想像”して頂きたい。

縄 文土

Genio Mondo

～ジャン モンド～



## 祝辞

世界の国の面積の小さい順で、バチカン、モナコ、ナウル、ツバル、サンマリノと世界で5番目に小さな国サンマリノ共和国はイタリア領に囲まれた独立国家で、面積は61平方キロ。東京都大田区が約60平方キロ、世田谷区が約58平方キロと同程度です。首都サンマリノは、標高739mのティターノ山を中心に建設された城塞都市。紀元301年、石工であったマリノがティターノ山でキリスト教のコミュニティを作ったのが始まりとされる、「現存する最古の共和国」です。現在日本にある各国大使館の中で、在任期間の最も長い大使として、宮中行事、国賓行事などでは各国大使夫妻の前に立ち、代表大使として祝辞を述べております。



この度は、世界平和を祈念するミュージカル「ダディとマザーの軽井沢物語」の初演にあたり、オノヨーコさんの従兄弟であられる加瀬英明先生からお話を頂戴し、感銘を受け是非私自身見たいと思いやってみました。

昨日私は、平成最後の天皇誕生日を宮中参殿で外交団長としてお祝いして参りました。

イタリア半島の北部に位置するサンマリノはティターノ山の頂上にあり、高い城壁に囲まれ侵略を受けず、女王・卑弥呼の時にでき、第二次大戦下も占領されず今日まで最古の共和国として続いてきた、平和の国です。ヨーロッパ唯一の神道の神社もあり、天照大神がご祭神で、これは伊勢神宮と同じです。私も日本のファンです。



東西の融合によって世界平和の実現を目指したジョンとヨーコが1966年出会い、恋に落ち、1969年3月結ばれたのはまさに東西融合のファンファーレでした。

それを縄文土先生がミュージカルに作られたのは大きな意義があると思います。

来年にはヨーロッパ、アメリカなどでも公演を実現し、世界平和に寄与されんことを大いに期待してます。東洋と西洋を結びつけたのがジョンとヨーコであり、このミュージカルは2020年東京五輪に向けて世界を日本がつなぐ文化の架け橋となることでしょう。

世界中の人にこれを見てもらいたいと思います。

ジョンレノン日本で柔道や歌舞伎など日本の文武両道を愛していたそうですが、実は私の妻は居合を嗜んでおります。私は、あまり得意ではありませんが。ジョンレノンとビートルズの曲は中学生の頃から母国で聞いておりました。

本日今から始まる初演を私も皆様と一緒に最後まで拝見したいと思います。本日は「ダディとマザーの軽井沢物語」初演、誠におめでとうございます。



サンマリノ共和国 特命全権大使 在日外交団長  
マンリオ・カデロ

## 監修の言葉

ヨーコとジョンは、近代文明社会の人々が虚ろな物や生活への欲望や学位、偽りの地位によって、がんじがらめに縛られているのに対して、拘束を捨てて、人間らしく生きることを求める真の革命の旗手であり、ロマンチックな破壊者だ。

ジョンは、ヨーコと二人で書いた『イマジン』のなかで、  
「宗教がなくなれば、世界が平和になる」  
と歌って、キリスト教を否定しているが、  
「私が来たのは、人が生命(いのち)を得、与えられた生命いっぱい生きなさい」  
という、イエスの新約聖書の力強い言葉が響いてくる。

二人は、今日、多くの人々が人造人となっているなかで、自然人だった。近代が老いてゆくなかで、抗争や戦争を招く理性の時代が疲れ果てて、独善的な宗教や、拝金社会が斥けられて、人と自然を心で感じる信仰の時代を、引き寄せてくれた。

『ダディとマザーの軽井沢物語』に、期待したい。



一般財団法人未来想像財団 名誉理事長  
外交評論家  
加瀬英明  
(小野洋子さん従兄弟)

加瀬英明

## 演出の言葉

2011年12月8日に武道館で開催された『Dream Power ジョン・レノン スーパー・ライブ2011』の映像で、オノ・ヨーコさんが鎮魂の楽器である琵琶と共演されたパフォーマンスを見ました。長年一緒に仕事をしてきた琵琶演奏家の岩佐鶴丈さんが、私がこの仕事をしていると話したら、見せてくれたのです。ヨーコさんはそのパフォーマンスの冒頭、地獄の業火に焼かれるが如き絶叫の後に、「俺たちは地獄の苦しみを味わう定めになっていた。ああ、いやだいやだ!何も無い、何もかも失くしてしまった。その灰の中からお前たちが立ち上がる必要があるんだ!」と強烈なメッセージを、その年東日本大震災の被害を受けた日本人に送っていました。それは感動的で、1960年代から70年代にかけてのジョンとヨーコの強烈な社会へのコミットメントの姿勢が、今だに衰えてないことに衝撃を受けました。

「ジョンとヨーコの物語」という作品は縄文土さん作曲の楽曲であり小説のタイトルです。縄文土さんは音楽家として、大きな影響を受けたジョン・レノンとオノ・ヨーコさんの志を継ぐべく未来想像財団を立ち上げて、この度はその披露の公演です。私もビートルズ世代の人間の一人として、文土さんの想いの深さに共感し、時空を超える宇宙的な空間でもあり、鎮魂と祝言の場でもある能舞台での上演を提案し、私と仕事を積み重ねてきた優れた俳優である金子あいさん、テノール歌手であり俳優でもある小野口基さんとこの仕事に参加しているのです。小川さやかさんとは初仕事ですが、ピアニスト、歌手としてもこれから大いに飛躍する優れた方です。そしてゲストの谷本綾香さんは英国で活躍される素晴らしい歌声のメゾ・ソプラノのオペラ歌手です。

地球温暖化による地球の危機が叫ばれ、国際的にも取り組みがなされていますが、その足並みも揃わず、五百年後の地球はどうなっているのでしょうか？

地球温暖化で東京もニューヨークも水没し、標高の高さで生き残った軽井沢に、月に住むマザーが現れるところからこの物語は始まります。そして家族、ダディとマザーとボーイの記憶が蘇る…。二人のなれそめから死に至るまで往復書簡や日記を通しての、二人の強烈な出会いと、恋に生きた姿は感動的です。それが『音楽劇 ダディとマザーの物語 ヌソムルモンド 僕ら地球人』です。

12月はジョン・レノンの命月です。そして12月24日のクリスマスイヴはイエス・キリストの降誕祭です。そのルーツはローマ時代のミトラ教の冬至の祭が習合したものだと言われています。冬至の祭は世界中にあり、ハロウィンの祭がそうであるように、死と生の変わり目なのです。まさにこの日にふさわしくジョン・レノンの魂がこの鎮魂の芸能の場である鏡仙会の能舞台と、皆様の心に降誕し、再生することを願っています。

ご支援、ご協力頂きました関係者、スタッフの皆様に心より感謝申し上げます。

最後になりましたが、二度お目にかかせて頂き、ジョン・レノンとオノ・ヨーコさんの貴重なお言葉をお教へくださいました、オノ・ヨーコさんの従弟の加瀬英明様に深謝申し上げます。

演出家 笠井 賢一

この作品の台本を読ませて頂き、ダディとマザーという物語上の登場人物を通し、ジョン・レノンと小野洋子さんという、歴史上でも稀なほど注目を集めた東西を超えたカップルをオマージュし、ロンドンでヨーコさんが催した個展での出会いや、結婚する前年の頃の悩みや愛の告白を、インドからのラブレターを通して語り、歌いあげる場面が特に強く印象に残りました。

物語は、2520年、二人の血を受け継ぐ女性が、住んでいた月から引き寄せられるかのように、軽井沢を訪れ、古(いにしえ)の家族の足跡をたどり始めます。ダディとマザー、そして息子ボーイの家族3人が過ごした別荘を訪れ、「フランスペイカリー」や「万平ホテル」、喫茶店「離山房」を巡りながら、徐々に500年前のこの家族の日常とシンクロし始め、あたかもその場に女性が存在するかのように一体化していく感覚は、これまでにない陶酔感を感じました。

そうした展開のなかに落とし込まれたメッセージの核心には、ベトナム戦争が激化していた1969年、新婚旅行先だったオランダ・アムステルダム Hilton ホテル702号室で実際にジョンとヨーコがベッドから世界に発信した「LOVE&PEACE」の思いがあるとも言えるでしょう。それと同時に、地球温暖化による海面上昇で、海に近い都市や島が沈んでしまった後という2520年のシチュエーション設定は、当然のことながら環境問題、食料問題や、子ども達の教育・福祉の格差問題もアピールしています。

ストーリーの後半で劇中のマザーが後悔するように1980年12月8日、ダディはニューヨークのダコタハウス自宅前で銃撃されてしまいますが、私も、先日、ニューヨークを旅しその現場を実際に目の当たりにし、追悼集会で世界各地から集まった人々がジョンの曲を涙ながらに歌う様を見て、消えることのない喪失感と存在感を感じました。マザーと目指した「LOVE&PEACE」のメッセージと、イマジン、すなわち想像することの大切さは、ダディ、つまりジョン・レノンの死以降、ずっと私たちに突き付けられているかのように思いました。

この作品は、作者縄文土さんのジョン・レノンへの思いが、まるで未来のジョンから降りてきたようなメロディに乗せ、リアルな歌詞と感動的な歌声を通して胸に迫ります。それは、ジョンが縄文土さんに乗り移っているかのようで、この地球が手遅れになる前に気づき、歩き始めようと、私たちに語りかけています。

当時の二人の気持ちを赤裸々に描きながら、率直な気持ちをぶつけ合うラブストーリーの体裁をとりつつ、インドのリシケシュで自らの魂と向き合うジョンの心は、ただただ平穏な日々を願いながらさまよっているかのようです。また、芸術家としての人生と愛を貫くヨーコさんの生き方に日本女性の一人として私も共感するものがあります。

未来の大切な地球全体の財産で子ども達のためを考え、私たち小鳩保育園の園児、卒園児も今回エンディングで今回の音楽劇に参加、協賛させて頂きました。舞台の成功と発展を祈念しています。

## レビュー(評論)

有限会社プレゼント 代表 川中紀行(雑誌編集記者)

能舞台という端正な空間に研ぎ澄まされた言葉と歌声、さらに映像美が鮮やかに映える中、ジョンとヨーコの普遍的な愛と、二人が目指した平和の希求が力強くメッセージされる類型を破る至高の音楽劇の誕生。

舞台のしつらえは、正面には老松、右手には青竹の絵が浮かびあがる和の風情。ここから、あたかも研ぎ澄まされた能や狂言の世界を背負うかのように、そぎ落とされた力強い言葉が、地球にとって普遍的な平和への希求と、すべてに求められる愛の大切さを伝えていく。音楽家縄文土の全編を貫くジョン・レノンが作ったかのような独特な哀愁のオリジナルメロディと、能の演出家として実績を築く笠井賢一の視点が、斬新な世界をこの舞台に出現させた。

そのメッセージをより色鮮やかに演出するのが、個性の異なる3人の演者による美しさと迫力ある歌声、透明なピアノの音色と、背景の映像美だ。能や新内など、まさに和の古典の素養ある金子あいはマザーと、その500年後の子孫にあたる女性の二役を演じる。テノールとして進境著しい小野口基が陰影深く演じるのはダディ。このシンプルな主要キャストを、透明なピアノの調べで引き立てるのが小川さやかで、彼女は、二人の息子・ボーイの声も務める。しかし物語はやがて、この三人が現実世界の古の家族と重なりながら展開していく。これらのエレメントが融合したパフォーマンスは、もちろん和の趣の対岸にあるが、その言葉の一つひとつには、崇高に整えられた和の古典と根を一つにするかと思わせる感性を感じた。

“平和への希求と、すべての人に大切な愛”、この崇高なメッセージは、「LOVE&PEACE」というキーワードで、現実世界のジョンとヨーコの代名詞でもあった。いま地球は、グローバリズムへの批判が勢いを増し、人種・宗教・国家間の対立が激しくなると、このメッセージの重要性が増すが、原作・脚本の縄文土は、大上段にそれを振りかざすことはせず、恋文の交換という簡素で艶やかなスタイルを織り交ぜながら、ジョンの、そしてヨーコが放つ言葉と引き込まれるような歌声を借りて心の奥底に届ける仕掛けを選んだ。

多くの都市が海底に呑み込まれた500年先の物語では、ジョンとヨーコが今から50年前に過ごした軽井沢は、世界を代表する都市になっているが、誘い込まれるようにこの街を訪れた女性は、やがて異次元の世界で交信しながら古の二人のメッセージを受け取る。同じように軽井沢で出会い恋文のやりとりをした芥川龍之介と片山廣子の逸話を折り込む脚本でジョンとヨーコの愛の純度を高めつつ、一方で漂泊するジョンの魂は、インドのリシケシュという聖地がもたらす力に触発され、平和でやすらぎある世界の価値を伝える。

密かに挿入される“愛の周波数”444ヘルツも対立とは真逆の道具立ての一つだ。そこに私は、隣にいる大切な人への愛があってこそ、地球社会の平和が訪れるとでも言うような、メッセージを感じた。もちろんそうした企みは、作者・縄文土の領分だ。しかし、そのように想像力を働かせることも観客の自由である。つまり、それこそが「イマジン」なのだと思う。



# ライナーノーツ

## M1. ♪ 『トウゲザー』

詞曲: 縄文土、歌: 谷本綾香

〔心の中に力強く穏やかな希望を灯す極上のバラード〕

夢を追いかけるのはとても素敵なことだと言われつつも、その道のりは険しく、待ち受けている幾多の別れに孤独を感じて立ち止まってしまう人は少なくない。TOGETHERはそのような挑戦者の心情を汲み取り、内に秘めた情熱にそっと火を灯してくれる名曲だ。前向きな歌詞に表れているのは単なる楽観ではなく、優しさという類の表面的なものではない。夢を見る者にしか理解しえない苦悩や葛藤を内包した奥深い情動そのものだ。圧倒的歌唱力をもって伝えるその世界観は、まるでクラシックのように聴く人を選ぶほどのアイデンティティーを放っている。

## M2. ♪ 『風のワルツ』

詞曲: 縄文土、歌: 谷本綾香

〔語り尽くせぬ愛を紡いだ哀愁のメロディー〕

燃え上がるような愛のはじまりには誰もが永遠を夢見る。ゆえに世間でよくあるラブソングの多くは浮き足立ち、絵空事のような甘い愛を描いているが、風のワルツはその対極にある楽曲と言っていきたい。これほどまでに愛が離れてしまったときの儚さ、そして言い表しようのない侘しさを真摯かつ叙情的に描写している楽曲を私は聴いたことがないからだ。「風は命の泉、山と海との間を繋ぐ 時代(とき)を超えて吹き続ける 太陽は命の泉、愛を与え続ける」という朗読、透き通るような歌声、弦楽器と管楽器の絶妙なハーモニーが織りなす哀愁のワルツはニューヨークの街並みを映し出し、聴く人の心を優しく揺さぶるだろう。

## M3. ♪ 『ヌ・ソム・ル・モンド』

詞曲: 縄文土、歌: ジェニオ

〔普遍の人類愛を歌ったその世界観はまるでシネマ〕

音楽劇『タディとマザーの軽井沢物語』の主題歌である『ヌ・ソム・ル・モンド』は、ジョン・レノンとオノ・ヨーコをはじめとする様々な偉人たちが伝えようとした普遍的な人類愛をテーマとしている楽曲だ。これは情報が氾濫する現代において難しいテーマの一つでもあるが、『ヌ・ソム・ル・モンド』の素晴らしい点は音楽的なアプローチを加えることによって人類愛の解釈を容易にしているところだ。シンプルライフ、それは何か特別なことをするのではなく、自らの良心に従って素直に生きること。日々の暮らしの中で忘れかけていた大切な何かをきっと思い出させてくれる名曲だ。

## M4. ♪ 『ハロー・ニッポン!』

詞曲: 縄文土、歌: ジェニオ

〔2020年東京五輪のイメージソング、初の日本と東京の世界へのプレゼンソング〕

2020年東京に向けて縄文土が書き下ろしたプレゼンソングが『ハロー・ニッポン!』だ。日本を世界にプレゼンテーションする楽曲は今まではほとんど無かった。1961年坂本九の『スキヤキ』や1970年三波春夫の『世界の国からこんにちは』がある程度。曲調は 대중を意識してオーソドックスなコード進行かつポップさを大切にしているが、君が代からはじまるイントロダクションには伝統を重んじる縄文土の心意気が現れている。歌詞にもCiao(チャオ=イタリア語)、Hola(オーラ=スペイン語)、你好(ニハオ=中国語)、Bonjour(ボンジュール=フランス語)など世界各国の挨拶を取り入れ、国を超えて親しまれるようなつくりになっている。2020年東京オリンピック・パラリンピックは『ハロー・ニッポン!』で競技に花を添えてもらいたい。

## M5. ♪ 『花』

詞曲: 縄文土、歌: 小野口基

〔世界の平和を心から願う縄文土からのメッセージ〕

テクノロジーの発達に伴い、私たちの生活は豊かで便利になったはずなのに、どこかに不自由さを感じているのは私だけではないだろう。私たち現代人が抱える矛盾はなんと滑稽なのだろうか。縄文土が『花』の歌詞の中で「心の安らぎは愛の姿」と伝えられているように、生きていく上で本当に大切なものは富や名声ではなく心の安らぎなのだ。曲中の朗読の部分にある「花の世界をいつか僕等は作りたい縄文ライフ」。この一節から縄文土が自身のペンネームに込めた縄文時代の土器に込められた平和とアートへのメッセージがうかがい知れる。この歌詞とメロディーは、リスナーがこの曲を聴いて本当に伝えたい人への、心を失くして日々忙しく生きているすべての現代人への歌のプレゼントだ。

## M6. ♪ 『シンプル・ライフ』

詞曲: 縄文土、歌: 小野口基・小川さやか

〔いつからか僕たちは欲しがってばかり。今必要なのはひとつだけ〕

手に入れる欲求から捨てる事の苦しみが生まれる。捨てる事の苦しみに目の前の大切なものが埋もれてしまう。そんな日々はもう終わり。愛をもって生きてゆけば余計なものには目に入らなくなる。飾ることなく欲しがらずに生きてゆこう。指を動かし絵文字で伝える気持ちではなく、心と口を動かして肌に触れる事で伝わる気持ち、それが「愛」である事を声高らかに歌う。人の願いや欲求は際限がない。原点回帰した時、人は何も持たずに生まれてきた事に気づく。人を愛し、人に愛され、生かし生かされ、活かし活かされ。飾るものや覆うものを捨て去った時、真実の愛だけが浮かび上がり、その愛がすべてであることに気づく。争いがみ合い 戦う事をやめれば、人は自らの愛を顧みる。物質的のみならず精神的な「断捨離」ソングともいべきナンバーである。

## M7. ♪ 『恋に落ちたら』

詞曲: 縄文土、ピアノ: 小川さやか

〔恋心を古典的なアプローチで描いた壮大なラブソング〕

楽曲は舞台やミュージカルにふさわしい壮大な印象を放っているが、この『恋に落ちたら』の面白いところは、歌詞に古典的なアプローチを加えているところだ。紫式部著・源氏物語・第12帖「須磨」より引用した一節を朗読部分に取り入れることで、現代版源氏物語のような新しい世界観が広がってくる。恋をしたときの喜び、切なさ、相手を想う愛おしさ。時代を超えて「恋」という永遠のテーマを描写している。企画構想中の映画「世界恋愛四部作」の第一部: 縄文時代、第二部: 源氏物語、第三部: ロミオとジュリエットその後、第四部: ジョンとヨーコの物語と、1万年前から5百年後の未来まで続く愛の物語のテーマを貫く。また、ビートルズのジョンの作品「IF I FELL(恋に落ちたら)」とタイトルがクロスする。プロデューサー、そして自らが作詞作曲を手がける奇々、縄文土ならではの楽曲と言っても過言ではないだろう。現代のラブソングは聴き飽きたという人にこの曲を送りたい。

## M8. ♪ 『ジョンとヨーコの物語』

詞曲: 縄文土、歌: 小野口基・金子あい

〔時代(とき)を超えて生きる愛と音〕

永遠の愛を紡ぐジョンレノンとオノ・ヨーコの歩んだ道程を辿り、彼らが残したメッセージを音楽で繋いだトウクルストーリー。音楽・アート・愛・夢の普遍性を歌声にこめ次世代の若者たちへ捧げる。

「愛と平和」を訴え、アムステルダムやモントリオールでベッドインしたジョンとヨーコ。二人がベッドの上から訴えたメッセージ「Love & Peace」は、人類永遠の宿題であるともいえる。

ジョンがこの世を去り、長い時を経た今でも、世界のどこかで誰かが愛し愛される「瞬間」はどこかで誰かが傷つけ合い憎しみ合う「瞬間」でもある。時代や場所や文化を超え、常に考えられてきた「愛と平和の在り方」。それは、同じく時代や場所や文化を超えて存在する音楽やアートと融合する事で普遍的で絶対的な存在価値を産み出す。現代に生きる我々が「Love & Peace」に思いをはせ、歌声に乗せたメッセージを感じる事でジョンの見た風景や苦悩、彼の命を感じられる。この曲では、ジョンとヨーコが残した「愛と平和」を、現代に生きる若者たちへ普遍的な言葉・メロディーで捧げる。

## M9. ♪ 『桜恋詩〜源氏えれじい』

詞曲: 縄文土、歌: 小川さやか

〔桜を懐かしみ 桜を待ち望み 桜に恋い焦がれ・・・〕

未来永劫・永久普遍にあり続ける「日本の心」ともいべき「詫び」と「寂び」。桜を通して 心の揺れ動きと 季節の移り変わりをさらびやかな世界観でつづる「日本人による日本人の為の楽曲」。

日本の雅や詫び寂びを 春夏秋冬・花鳥風月を通して きらびやかな風景と共に表現した。紀貫之、小野小町、大場翠華、松尾芭蕉、紫式部など、そうそうたる歌人・作家の和歌など引用されており、リスナーに平安の宴を疑似体験させるような世界観で綴られている。季節の変化を通して想いにふける描写が数多くみられ、桜の花が咲き乱れる事への喜びやそれを待ち望む気持ち、花びらの散り際に見る儚さなどが丁寧に描かれている。

季節を愛で 花の色あいに人生を重ね合わせ 胸の内を歌に乗せる事は今も昔も変わらない。春を懐かしみ 春を待ち望み 春に恋い焦がれる感性は 未来永劫に共感できる日本人の本質ともいえるであろう。

## M10. ♪ 『イマジン・ユー』

詞曲: 縄文土、歌: 小野口基

〔聴く人の心を撫でる愛の語り、あなたの大切なひとを感じる曲〕

愛とは人類にとって普遍的なもの。音楽の世界では男女愛が多く取り上げられているが『イマジン・ユー』は性別や人種を超え、本質に根ざした深い愛がテーマとなっている。スケールの大きなその世界観は、歌詞の魅力もさることながら、ジョンの作法を彷彿させるメロディラインは必聴だ。アコースティックギターをメインとしたシンプルな演奏に心を撫でるような癒しを受けるのも特徴的だ。ところが、歌詞を読み返して聴くたびに楽曲が表情を変えてくるから奥深い。『イマジン・ユー』という題名にはイマジン(想像する)だけでなくユー(あなた)という他者が含まれている。縄文土ならではの、このメッセージ性こそが人の琴線に触れることができる所以だろう。

## M11. ♪ 『愛は果てしなく』

詞曲: 縄文土、歌: 小野口基・金子あい

〔命と愛で結ばれた二人は永遠に。もう一度届け。もう一度会いたい〕

ジョンとヨーコ、二人が同じ時代に生き、同じ時代に出会い、愛を育んだ奇跡。奇跡の愛は過去から現在、現在から未来へ果てしなく続く。生命の終わりが二人を分かちても、あなたがどこにしようともまた再び会い伝えたい。それぞれの愛は果てしなく続くから。作者モンド自身の恋の物語を書いたという。

ジョンとヨーコが共に生きた時代。1960年代のロンドン。そこで出会い、それぞれの愛を確かめ合い、生まれた命や平和。ジョンの命は果てたが、ジョンの愛やそこから生まれるメッセージは今も産まれ続け、生き続ける。命が果てようとも二人の愛に終わりは無く、どこにしようといつかまた再び会う事を誓い合う。

「愛は果てしなく」では、過去～現在～未来の時間概念や生死にまつわる肉体的概念を超え いつまでもどこまでも愛を確かめ合い続けている 二人の対話が展開される。「命」そのものになったジョン。「愛」そのものになったヨーコ。二人が織りなす「命」と「愛」の対話は 永遠の中にある「温かさ」と「深さ」そして青春へのノスタルジーさえも感じさせる。二人のメッセージをそれぞれ代弁する男女二人のボーカリスト。彼らが届け合うメッセージの色彩は非常に豊かであり、必聴である。

## M12. ♪ 『広い世界』

詞曲: 縄文土、歌: 小川さやか

〔70億分の2×2000年の確率で出会った奇跡はみんなに共通〕

1966年11月9日奇跡の出会い、運命だったのか。ジョンとヨーコの出会いはもしかしたら、1万年前縄文時代に遡るのかもしれない。時をこえて、東西の世界をまたいで出会ったのには説明できないものが。それは、僕たちも同じだ。1969年3月20日ジブラルタルで結婚の宣誓を終えた二人はパリのジョルジュサンクホテルでハネムーンを過ごし、アムステルダム・ヒルトンホテルのベッドから世界に「ラブ&ピース」のメッセージを発信した。作者は広島での惨劇をあえて歌詞に入れ、「戦争と平和」どちらを選ぶ? “Yes or No? Oui ou Non?”と聞き手に対して問かけるプロテストソングでもある。

## M13. ♪ 『マザー・ラブ』

詞曲: 縄文土、歌: 小川さやか

〔母なる愛を求め、母なる愛に目覚め、母なる愛を与える〕

母のくれた無償の愛を追い求め、いつしか自らが母となり、無償の愛は求めるのではなく与えるものとなる。日々を生き、感謝を言葉にすることで母から受け継いだメッセージを次世代へ。

永遠のテーマともいふべき「無償の母の愛」にフォーカスし、母性を求め、無償の愛を探し続ける語り部が やがて母の視点を知り、無償の愛を次世代へ与える視点へと切り変わってゆく。

この楽曲では、子から親へ 親から子への 心のメッセージが人生という名の「過程」で少しずつ形を変えていく様が、曲の構成に沿ってごく自然かつ丁寧に描かれている。母なる光に照らされ歩んできた道を振り返り、改めて母の偉大さを知り 感謝の心と共に 自らが明日への光を照らし始める決意にも似た想い。その語り部の想いに共感するリスナーは少なくないはずだ。愛を求め 愛に目覚め 愛を与える事で生まれた感謝を母へ贈り、永久不変なテーマをこの世の生命全てへの感謝へと昇華させている。

## M14. ♪ 『ラブ・ラブ・ラブ』

詞曲: 縄文土、歌: 小川さやか

〔生きること愛すること願うこと許すこと〕

1960年代ジョンとヨーコが叫んだ「愛と平和」は変わらない。同時に「憎しみと争い」も変わらず繰り返される。愛への「Yes」と矛盾へのクエスチョン。今一度 命の価値と愛の意味を考える。

二人が身を呈して伝えたかった「愛と平和」の定義と法則。改めて「生きること」「愛すること」「願うこと」「許すこと」を通して平和の在り方を提唱する人間讃歌。

ジョンとヨーコがそれぞれ我々に直接語りかけるという形式で交互に歌声が放たれており、男と女、父と母、兄と姉、弟と妹、様々な解釈の中でメッセージを受け取れる印象を受ける。

二人からは この世の矛盾への愛いが 優しく傷切なく 丁寧に語りかけられる。

リスナーに委ねるとい意味ではなく 一つの問題提起から イマジネーションを膨らませる事で 人それぞれの「愛と平和」が見えてくる。

楽曲終盤にジョンが言い放つ「リアルラブ」には魂と物質を超えた真の愛に対する説得力が感じられる。

## M15. ♪ 『ニューヨーク・セレナーデ』

詞曲: 縄文土、歌: 小野口基

〔今は亡きジョン・レノンへ送る珠玉のセレナーデ〕

1980年12月8日。ニューヨークのセントラル・パーク西側72番通りにあるジョン・レノンの自宅ダコタ・ハウスの前で起きた射撃事件。『ニューヨーク・セレナーデ』はジョン・レノンへのレクイエムであると同時に、去り行く彼の心情を慮ったセレナーデ。世界中が泣いたこの歴史的事件には、様々な逸話が存在するが、作者のGens Mondoは独自の視点で一連の出来事を歌詞とメロディーにまとめあげている。しっとりとした男女ツインボーカルの歌声、街の喧騒とサイレンからはじまる楽曲の世界観は12月のニューヨーク、そしてジョン最後の時を見事なまでに描写している。

## M16. ♪ 『ヌ・ソム・ル・モンド』

日本語版・詞曲: 縄文土、歌: 小野口基

(M3. ♪ 『NOUS SOMMES LE MONDE』の日本語版)

## M17. ♪ 『ハッピーホリデー～みんなとクリスマス』

詞曲: 縄文土、歌: ジェニオ

〔キセキの夜と一緒に叫ぼう、共に生きる喜びを!〕

僕らの出会いはそれだけで奇跡。今もこれからも一緒に居る事の喜びを感じる特別な日、それは宗教とか宗派は関係ない。ジョンが「イマジン」で唱えたメッセージを声高らかに歌う。春夏秋冬季節は移り変わり 聖なる夜と一緒に居られる素敵な偶然と感動をあなたと分かち合う。

二人が出会い、共に愛を育て一年に一度奇跡が降る「聖なる夜」。この夜に訪れる二人きりの幸せをアップテンポで軽快なアレンジに乗せて歌うポップな新たな定番シーズンソング。季節の移り変わりを経て、待ちに待った夜を迎えた二人が今年も一緒に「メリークリスマス!」と言い合える事へのウキウキワクワクがシンプルかつダイレクトに伝わってくる。

曲中にはスタンダードナンバーの印象的なフレーズが随所に散りばめられており、リスナーをライティングされた雪降る雑踏へ誘い、ファンタジーな夜を企む物語の主人公にしてしまう楽曲である。

文章 2018年12月1日 音楽評論家 佐藤章太

# 歌詞

## 1. ♪『トウゲザー / Together』 for 2020 Tokyo Cheering Song

作詞・作曲:縄文土、歌:谷本綾香

前むきに歩こう 下をみてたら 気付けないものさ  
色とりどりの景色がそこに 見えてくるはず  
晴れた空 差し込む光 笑顔が溢れてる  
明日へ駆け出す ためには ひとりより 君とTogether!  
何かに挑む君の姿 夢は果てしなく 広がる  
僕の心に今みなぎるスピリッツ 共にたたかう仲間がいる ウー  
アー 5つの陸へ 空へ駆け出そう Come With Me!  
オー 見えない未来に 向かって  
アー 世界は君の 勇気で広がる Get Together!  
オー 明日へ続く今日から はじめよう

朝焼けに夢見よう 月から太陽に バトンがわたるよ  
七色のスペクトラムが 見えないものを照らす  
鏡にうつる今を見てみよう 過去が見えるから  
明日を想像し 自分から変えていく 夢とTogether!  
それることは何もない 夢は果てしなく 広がる  
君の胸に今高鳴るスピリッツ 共に走る仲間がいる  
アー 7つの海へ 夢へ駆け出そう Come With Me!  
オー 知らない国へ 出かけよう  
アー 世界は僕らの 願いで変わる Get Together!  
オー 平和を築くことから はじめよ

## 2. ♪『風のワルツ / The Wind Waltz』

作詞・作曲:縄文土、歌:谷本綾香

優しく頬を撫でる 風の香り  
柔らかく包まれて ふと立ち止まる  
母よ あなたと遠く離れても  
心はいつも そばに居て  
そっと寄り添い 微笑んでくれる  
吹き続ける風の音 命をつないで  
我が子のため 惜しまず注ぐ 母の愛

広い大地のような めくもりに  
あたたかく包まれて 心安らぐ  
母は 海のように深く限らない  
無限の愛にいつも 満ちあふれ  
ワルツの調べを 歌ってくれた  
降り注ぐ太陽 命を照らして  
あなたのため 惜しまず注ぐ 母の愛  
ララララ ララララ ララララ ララララ  
ララララ ララララ ララララ ララララ

<朗読>

風は命の泉、山と海との間を繋ぐ  
時代(とき)を超えて吹き続ける  
太陽は命の泉、愛を与え続ける

<歌唱>

アー風の音 命をつないで  
我が子のため 惜しまず注ぐ 母の愛  
ララララ ララララ ララララ ララララ  
ララララ ララララ ララララ ララララ

<朗読>

パームスプリングスにて 風のワルツ  
母のような存在に 私はなりたい

## 3. ♪『ヌ・ソム・ル・モンド / Nous Sommes Le Monde』

作詞・作曲:縄文土、歌:ジェニオ

Nous Sommes Le Monde, LuLuLu  
Nous Sommes Le Monde, LuLuLu  
Nous Sommes Le Monde, LuLuLu  
Nous Sommes Le Monde

From Tokyo to LA  
From London to Paris  
From Berlin to Moscow, Oh Yeah  
From Rome to Istanbul  
From Bagdad to Calati  
From 敦煌 to 奈良, Silk Road  
Nous Sommes Le Monde, LuLuLu  
Nous Sommes Le Monde, LuLuLu

## 4. ♪『ハロー・ニッポン! / Hello Nippon!』

作詞・作曲:縄文土、歌:ジェニオ

ハロー ハロー ニッポン!  
ウエルカム ウエルカム トーキョー  
海を越えて ドリーミング  
黄金の国ジバング  
創造性の街 歴史の都市  
無限の可能性の国  
みんないらっしやい おいで

ハロー ハロー ニッポン!  
ウエルカム ウエルカム トーキョー  
羽を広げ フライング!  
未来をさあ描こう!  
水と緑の街 美しの都市  
平和の鐘の国 おもてなし日本 おいで  
ハロー ハロー ニッポン!  
ウエルカム ウエルカム トーキョー  
光浴びて シャイニング!  
世界をみな照らそう

## 5. ♪『花～縄文ライフ / Flower – Jomon Life』

作詞・作曲:縄文土、歌:小野口基

考えてみよう もっと  
世界の平和のことを  
戦いあうなんて  
理由はない 何のために?  
みな家族がいるのに

考えてみよう 僕ら  
世界の子どものこと  
本も水も無いなんて  
格差はない 何のせいで?  
生まれた時は同じはず  
IMAGINE LOVE & PEACEFUL WORLD  
心の安らぎは 愛の姿  
IMAGINE LOVE & PEACEFUL WORLD  
心の安らぎは 愛の姿

## 6. ♪『シンプル・ライフ / Simple Life』

作詞・作曲:縄文土、歌:小野口基、小川さやか、金子あい

“Simple Life” is the best way of life  
何も持たずに暮らそう  
“Pure Love” is the most precious thing  
純に生きてゆこう  
人は誰も 何も持たず 生まれてきた ただ愛するために  
愛が全て 欲しい物はない  
Simple Life, Be Yourself  
Love Will Never Die

自然に帰ろう 人も草も 太陽のもと 同じさ  
争いや 憎しみは 何の意味も ないさ  
愛が全て 欲しい物はない  
Simple Life, Be Yourself  
Love Will Never Die

## M7. ♪『恋に落ちたら / If I Fell』

作詞・作曲:縄文土、ピアノ:小川さやか

恋に落ちるなら 面影に 金色の夢 重ねたまま  
恋に落ちたなら 身を焦がしたなら いつまでも 歌の中までも  
揺らめきながら 瞬きながら  
こぼれおちていく 恋の熱い情熱を  
戯れにも似た うたたかの宮 叶わぬ夢の続きを  
月夜の君 今昔の愛 忘れぬ夢の続きを  
恋に落ちるなら 双六に 身を任せ

### <朗読>

「月影の やどれる袖は せばくとも 止めても見ばや あかぬ光を」

意味:とるに足らない私ですが、月の光のようなあなたをお引きとめたく存じます。  
出典:紫式部著・源氏物語・第12帖「須磨」より

月夜の君 今昔の愛 忘れぬ夢の続きを  
恋に落ちたなら 双六に 身を任せ

## 8. ♪『ジョンとヨーコの物語 / The Story of John & Yoko』

作詞・作曲:縄文土、歌:小野口基・金子あい

ジョンとヨーコの物語  
始まりは“天井の絵 / イエス・ペインティング”  
東京生まれの“太洋の子”  
リバプール育ちのジョンのトウルーストーリー  
愛が生まれ 愛に生きて 時代(とき)を超えた 歌声は  
時代(とき)を止めて 夢に満ちた 未来を紡ぐ 音符

ジョンとヨーコの物語  
光と音が 流れ始めた mmm  
音楽とアートが 一つになって  
愛と平和のメッセージ ベッドから伝えた  
愛が生まれ 愛に生きて 時代(とき)を超えた 二人は  
時代(とき)を止めて 夢に満ちた 未来を紡ぐ ツインスター  
ジョンとヨーコの物語 ジョンとヨーコの願い事

## 9. ♪『桜恋詩～源氏物語(えれじい) / Gensji Elegy』

作詞・作曲:縄文土、歌:小野口基、小川さやか

桜道を あなたと 歩いたあの頃  
春待ち顔の 桜の 花が咲き始めた  
「人はいさ 心も知らず 古里は 花ぞ昔の 香に にほひける」  
源氏物語 お酒を 片手に 読みふけよう  
桜の下で ほろ酔い  
花吹雪の中に あなたの 匂いがした  
面影は 今どこに 春の息 漂う

## 10. ♪『イマジン・ユー / Imagine You』

作詞・作曲:縄文土、歌:小野口基、小川さやか

流れゆく 愛のガンジスに  
身を委ねると 囁きかける  
魂のゆりかごは いつでもどこでも  
愛を教えてくれる  
一番身近な 大事な人と  
見つめあい 頬寄せ合い合おう  
Lovin' You  
Feelin' You  
Face Up to Your Heart  
Shape Up Your Life  
Lovin' You (Lovin' You)  
Touchn' You (Touchn' You)  
Aim At Your Heart  
Shade Off My Love

## 11. ♪『愛は果てしなく / Everlasting Love』

作詞・作曲:縄文土、歌:小野口基・金子あい

同じ時代に 生まれ 出会った  
それぞれの愛を 確かめるために  
忘れさせて 過ぎたこと  
気づかさせて 未来のこと  
イマジン 想いを馳せる時  
オーマイラブ あなたが宇宙のどこにしようとも  
愛は果てしなく 広く 深く  
愛よ果てしなく 届け! あなたに  
愛しいひとよ 命は永遠に  
愛しいひとよ 命果てるとも

## 12. ♪『広い世界 / The Wide World』

作詞・作曲:縄文土、歌:小川さやか

広い世界で 出会えた奇跡  
70億分の2x2000年の確率  
同じ空の下 同じ星を見て  
同じ幸せの形を 二人求めた mmmm  
1969年 アムステルダムからのベッドから  
「戦争と平和」 どっちを選ぶ?  
How I Love You, Love You, Love You  
For The World Of Great,  
No More War, No More Cars,  
No More Hiroshima!  
愛は海を越え 山を越え 君のもとへ

### 13. ♪『マザー・ラブ / Mother Love』

作詞・作曲:縄文土、歌:小川さやか

Mother Love for You, 初めて会った日から  
Mother Love for You, あなたに恋していた  
Mother Love for You, いつか巣立つ日まで  
Mother Love for You, 全てをあなたに捧ぐ  
For Tomorrow, For Tomorrow

<朗読>

決して見返りを求めることのない 無償の母の愛  
あなたは母と父の宝物  
あなたがどんなつらいときも 私たちがついている

### 14. ♪『ラブ・ラブ・ラブ / Love Love Love』

作詞・作曲:縄文土、歌:小川さやか

ラブ ラブ ラブ Yes Yes Yes  
この世の 悲しみや 苦しみが溢れても  
明日への 希望が あれば 生きてゆける  
この世は 喜びと 幸せで 満ちている  
あなたの 笑顔と 平和が あればいい  
生きる ことに価値がある  
愛する ことに意味がある どうして 争うのか!  
願うごとに夢がある 許す ことに愛がある  
ラブ ラブ ラブ ラブ  
ラブ ラブ ラブ ラブ

### 15. ♪『ニューヨーク・セレナーデ / New York Serenade』

作詞・作曲:縄文土、歌:小野口基

愛と共に 歌う明日は あの日 砕けて散った  
愛と平和に 生きた40年12月8日のことだった  
眼鏡に滲んだ霞みゆく街  
WHY WAS HE SHOT? どうしてなのか?  
IS IT COST OF FREEDOM? OH NO!  
New York Serenade  
ジョンの魂の叫び  
New York Serenade  
自由の価値を考えよう  
New York Central Park  
響くジョンのレクイエム  
New York Central Park  
天国への階段  
薄れてゆく 意識の中 明日の行方 見つめた

### 16. ♪『ヌ・ソム・ル・モンド / Nous Sommes Le Monde』

作詞・作曲:縄文土、歌:ジェニオ

Nous Sommes Le Monde, LuLuLu  
Nous Sommes Le Monde, LuLuLu  
Nous Sommes Le Monde, LuLuLu  
Nous Sommes Le Monde, LuLuLu

From Tokyo to LA

From London to Paris

From Berlin to Moscow, Oh Yeah

From Rome to Istanbul

From Bagdad to Calati

From 敦煌 to 奈良, Silk Road

Nous Sommes Le Monde, LuLuLu

Nous Sommes Le Monde, LuLuLu

僕らは地球と共に生きる 隣人同士 支え合おうよ  
戦い合うなんて やめよう Oh Yeah  
宇宙に生きる 地球の僕ら 金環日食 見て分かった  
父なるあなたに抱かれて Oh Yeah  
Nous Sommes Le Monde, LuLuLu  
Nous Sommes Le Monde, LuLuLu

サクラを愛する僕ら ジョンとヨーコの思いを胸に  
愛と平和に満ちた地球を Oh Yeah

ロミオとジュリエットその後 対立の無い世界に

音楽で実現したい Revolution Oh Yeah

Nous Sommes Le Monde, LuLuLu

We're the world

Nous Sommes Le Monde, LuLuLu

We're the world

Nous Sommes Le Monde, LuLuLu

We're the world

Nous Sommes Le Monde, LuLuLu

### 17. ♪『ハッピー・ホリデー〜みんなとクリスマス / Happy Holiday - Together with X'mas』

作詞・作曲:縄文土、歌:ジェニオ

Tic Tac Tic Tac Tic Tac Tic Tac

Tic Tac Tic Tac Ding Dong Ding Dong

Tic Tac Tic Tac Ding Dong Ding

Happy Xmas Day, Merry Merry Christmas!

It's a Fantasy, Santa がやってくるよ

その日 何かが 起きるといいね

愛の 天使が 舞い降りてくるよ

世界が白く 包まれる季節(とき)

「きよしこの夜」に 溶けていくんだ

メリメリメリークリスマス ベリベリベリークリスマス

メリメリメリークリスマス アー

Happy Xmas Day, Merry Merry Christmas!

It's a Miracle, トナカイと飛んでいこう

今年も 何かが 起きるといいね

二人に 奇跡が 舞い降りてくるよ

メリメリメリークリスマス ベリベリベリークリスマス

メリメリメリークリスマス あー

Happy Xmas Day, Merry Merry Christmas!

It's a Miracle, キャンドルに燃える想い

Happy Together, Happy Together, Happy Together

Happy Together, Happy Together

It's a Fantasy, Merry Merry Christmas!

It's a Miracle, Merry Merry Christmas!

## エピローグ

---

今回の音楽劇は、「ダディとマザー」という私の中で生まれた、まったく新しいかたちの「ジョンとヨーコ」をオマージュした創作物語です。私のペンによる小説「ジョンとヨーコの物語」（仮称、2019年出版予定）を原作としていますが、ダディ、マザー、ボーイと言う、どこにもいるような或る家族の話としました。

1979年夏軽井沢で大学生だった私と偶然言葉を交わすことになったジョン・レノン、ビートルズ時代とは生まれ変わったような普段着の男であり父親でした。彼は、両親の愛情を感じられぬまま大人になり、ビートルズを成功させ、名声と莫大な富を得た。だが、それでも満たされなかった。「僕は生きていていいのか。価値のある人間なのか…」と随分悩み、それに対して、力強く「YES」と言ってくれたのがヨーコさんです。ジョンはそれに救われた。これは人間なら誰にでもある普遍的な悩みです。生きていい。存在してくれるだけでいい。誰かにそう言ってもらえるだけで、人は救われます。

ヨーコさんの歌った♪『アイラブ・ユー・アース』という曲があります。その中でヨーコさんは、「あなたは無限のなかで、人が出会う場所、あなたは永遠のなかで、人が立つ岐路」と歌っています。地球のことを歌っているようですが、これこそが、まさにジョン・レノンという存在だと私は思います。

「ヌ・ソム・ル・モンド」この芝居の本を書いたとき、何人かの方に、「なぜフランス語のタイトルなの？」というご質問、ご指摘を受けました。英語や日本語で言えば「ウイ・アー・ザ・ワールド＝僕ら地球人」となりますが、500年後の国境のない世界、もちろん、何語でもいいわけですが、これは、フランス語を専攻していた、いささか生意気な学生時代に、反骨タイプの僕は英語や日本語で言わずフランス語をよく使っていたからでした。

今日のお芝居は、ジョン・レノンに熱中した元・仏文科の学生の単なる想像にすぎないのかもしれませんが、ただ、このクリスマスイブという特別な時間に、皆様がほんの少しだけ、やさしい気持ちになってくれたら……、このお芝居に意味があったとうれしく思います。そして、何よりも、ダディの魂が、それを喜んでくれる、そう思います。

本日はご来場頂き大変ありがとうございました。来年は国内外での公演を目指し、バージョンアップをして、また皆様とお目にかかれる日を楽しみにしております。

この音楽劇の誕生に関わってくださった全ての皆様、友人、そして嘗て別れた恋人、子供達、両親に言い尽くせぬ感謝の念を捧げます。

2018年12月24日  
原作者 縄文土



「一般財団法人未来想像財団」は、ダディとマザーのイマジニした「愛と平和」に満ちた世界を実現していきたいという強い思いから生まれました。”IMAGINE＝想像すること”を原点に、ルネサンス以来の「芸術と技術」の人間の叡智の両輪を轍（わだち）とし、1万年以上平和の続いた縄文時代の調査・研究を通し、人間社会と自然との高度で永続的な共生を目指すと共に、先人達の残した「芸術と技術」を世界に伝承、承継するミュージカル、ミュージアム、映像、小説などで、「愛と平和」に満ちたやすらかな世界の実現を目指し、地球の未来と子供達に貢献していきます。

1969年12月、ジョン・レノンとオノ・ヨーコさんによる“WAR IS OVER!”の看板が世界の街角に掲げられてから間も約半世紀経ちますが、世界を見渡せば、国益を盾にした衝突がより激しさを増し、イデオロギーや人種・宗教・文化の違いによる争いはなくなりません。一人ひとりの人間を見ても、自己愛や欲望を剥き出しにした“自分ファースト”で、弱者が求める救いの手を払いのけることさえあります。そして利益拡大競争の陰で格差を生み続けています。愛と平和を唱えてきた世界のリーダー達は沈黙し、それを護るために作られた憲法や憲章、条約が危機に瀕しているとも言えます。最早、理性では慈愛に満ちた世界は作れないのでしょうか？

2016年ボブ・ディランにノーベル文学賞が授けられました。ノーベル賞選考委員会は「まだ、音楽には世界に平和と愛を訴えられる力が有る」と認め、これを世界が受け入れたのです。そうです！歌詞とメロディそしてその織りなす歌、映像やアート、魂に訴えるこれらの作法！これらに秘められた人々を揺り動かすナニカがこれからの世界の幸せを作り出すチカラなのです。ディランと同時期に生まれ活動したジョンは、ディランが「風に吹かれて」を歌ったと同様に、ビートルズ時代「愛こそはすべて」などの曲を通して平和を訴え、1966年前衛芸術家のヨーコさんと出会い、1969年結婚しアムステルダムやモンリオールのベッドから「愛と平和」をメッセージしました。ジョンは、A(ラ)＝444ヘルツを基準とする、もともと太陽や海、風の音などにある自然の周波数に戻すべきと願っていましたが、1980年12月8日40歳の志半ばで凶弾に倒れました。あれから38年経ちますが、ジョンの思いは全ての人々の心に生きています。しかし、現実には世界各地で様々なテロや内戦、災害事故、環境、格差問題が目を覆うばかりで、ジョンが残したメッセージを具体的に行動で示し、ディランの受賞をきっかけに芸術の力が今改めて求められている時に来ています。

人間は何処で誰から生まれ、どんな環境でどんな人達と暮らしてきたかという生い立ちや、家族、風土、環境に影響を受けながら、人種・宗教・文化などによって固有の価値観と生き方を作り出します。そして「この生き方こそ唯一の真理、神の意志」と信じる宗教や倫理観が生まれ、それを広めようとする力を持つに至ります。そこから自分達と異なる人種、宗教、文化を忌み嫌い、軽蔑し敵対視し戦争までしてしまう人間の愚かさを避けることはこれまで不可能でした。しかし、宇宙空間に漂う小さくて美しい惑星・地球に暮す72億の人々、この無限の時間の中で切り取られた有限の人の命は貴重です。だからこそ、その命の時間を繋いでまだ見ぬ未来の命に夢を託し、同じ「地球人」(Earthian、アーシアン＝造語)として生きることが、今、私達に与えられた使命だと思のです。

1971年ジョンがヨーコさんと共に発表した『IMAGINE』。今こそこの曲に込められたメッセージを具体的に行動で示す時が来ています。人類は、『IMAGINE＝願ったこと』を、古代から次々に実現してきました。「芸術」は人々の心を動かし、「技術」は社会を動かす力がありますが、「芸術＋技術」両面で才を発揮したレオナルド・ダ・ヴィンチも「想像すること」が原点でした。“想像”すること、“創造”すること、そして「愛と平和」を次の世代に伝えること!!それが、私達に課せられたミッションだと信じます。

アーティストとしての二人が生み出した音楽、人間としての純粋な生き方と愛の足跡、「愛と平和」に基づく二人のメッセージが、これほど必要な時代はありません。

ヨーロッパ大陸の西に位置する近代文明発祥の地イギリスと、アジアの東の果てで紀元前1万7千年の縄文時代から平和に暮らし、遺伝子と文化を育んできた日本。この両極の地で生まれた二人の出会いは、決して偶然とは思えません。「愛と平和」を、これほどまでに鮮明な生き様で綴ってきた二人の結びつきは、前世からの深い縁で結ばれた必然であり、そこに大いなる存在の意志を感じるのです。もう憎しみは捨てよう蔑みの心を消し去ろう！ 国家、民族、宗教の縛りと驕り、そのエゴイズムを超えよう！そんな夢もいつか実現できると、思いを馳せてください。スポンサーを頂いて毎年ニューヨーク、ロンドンをはじめ世界各地で10年連続継続開催していきたいと思っています。ミュージカル「世界連愛四部作」のサウンド・トラックとして、ジョンのビートルズ時代、ソロ時代の曲をオーケストラで演奏した「ジョンレノン・クラシックス」を企画しました。この2つのアルバムはジョンとヨーコに纏わる世界各地の映像と朗読を添えDVDとして発表し、計画中の軽井沢での記念ミュージアムの館内音楽として皆様をお迎えできればと思っています。

そこで私たちは、以上のプロジェクトの母体となる組織として、「芸術と技術を融合し、時代を超えた創造を育む」イマジニ財団(IMAGINE FUTURE FOUNDATION)を創設することにしました。今回、イマジニ財団のロゴマークをデザイナーの浅葉克己様に依頼し、縄文土器を思わせる創造性溢れるデザインロゴが完成し、そしてヨーコさんの従兄弟にあたる加瀬英明様に名譽理事長就任を頂き、足掛け7年の構想・準備の末に、本財団設立に至りましたことは感無量です。ご支援・ご協力を賜りました関係者の皆様へ感謝申し上げます。

アートの力が「愛と平和」を源にした未来の世界の幸せを創り出すと信じて…

一般財団法人未来想像財団 代表 大場 佳文(アーティストネーム 縄文土)

【財団設立理念】私たちは、IMAGINE＝想像することを原点に、ルネサンスの「芸術と技術」という人間の叡智の両輪を轍(わだち)とし、1万年以上平和の続いた縄文時代の調査・研究を通し、人間社会と自然との高度で永続的な共生を目指すと共に、先人達の残した「芸術と技術」を世界に伝承、承継するミュージカル、ミュージアム、映像、小説などで、地球の未来と子供達に貢献していきます。

【目的】「芸術と技術」の融合により、教育・福祉・環境や、衣食住などの分野で、調査、研究、提言をしていくとともに想像性、創造性に富む才能、プロジェクトを支援し、ミュージカル、音楽、映像作品などの制作、発表を通し、「愛と平和」に満ちたやすらかな世界の実現を目指します。

【背景】今、世界を見渡せば、物質主義、金欲、名誉欲疲弊利益を盾にした衝突がより激しさを増し、イデオロギーや人種・宗教・文化の違いによる争いはなくなりません。一人ひとりの人間を見ても、自己愛や欲望を剥き出しにした“自分ファースト”で、弱者が求める救いの手を払いのけることさえあります。今こそ「愛と平和」を唱えたジョンとヨーコの思いを改めて伝えていく実行力が求められています。私たちは、オノ・ヨーコさんと共に「地球人(Earthian＝アーシアン ※造語)」として生き、フィランソピーを実践したジョン・レノンの意志を受け継いでいきます。

【構想の原点】「イマジニ財団」構想は、ジョン・レノンのイマジニした「愛と平和」に満ちた世界を実現していきたいという強い思いから生まれました。原点は2012年12月8日、日本武道館での32回目の「ジョン・レノン 追悼ライブ」でのオノ・ヨーコさんから受けた「ジョンの夢を繋いでいきましょう。今この会場に来てあなたの手によって…」というメッセージからです。ジョン・レノンが命がけで戦い、世界にもたらした「愛と平和」のスピリットを、ジョン・レノンが理想としていた愛の周波数A＝444Hzの普及を通し地球と未来の子供達に継承していきます。私たちはこの財団を恒久的な組織として設立し、「地球人」として生きたジョン・レノンのフィランソピーを受け継いでいきます。その収益は「社会的、文化的、教育的」な見地から、世界の子供達と地球の未来の為に「人道支援」「文化支援」「教育支援」を中心に役立てて参ります

【設立登記】2018年10月9日(ジョン・レノンとジョン・レノン 誕生日) 【本部】東京都千代田区飯田橋三丁目4番4号 代表:大場佳文

THE STORY OF DADDY & MOTHER  
2520  
NOUS SOMMES LE MONDE

愛

<https://nous sommes le monde.com>